

(仮称) 浅草地区まちづくりビジョン

25/8/22(金) 時点

浅草は、ずっとまちの人々とつくり上げてきたまち。

今のまちがあるのは、

“人々の心を惹きつける場をつくり、活気をもたらす“

“暮らしや営みを大切にする“

ことをずっと考えてきたから。

だから、これからのまちづくりも、まちの人々と考えていきたい。

目次

I はじめに

Q. 歴史があるまち浅草は、 ^{ふる} 旧いのか。	5
浅草地区 まちづくりビジョン	7
ビジョンコンセプトストーリー	8
まちづくりのコンセプト	10
コンセプトの実現に向け大切にしたいポイント	11

II 実現に向けた取り組み

まちづくりのコンセプトに基づくアプローチ	14
快適性を磨き上げる —アプローチ1～3	15
人・まちを結わえる —アプローチ4～6	17
文化を際立たせる —アプローチ7～9	19

III 戦略的まちづくりプログラム

戦略的まちづくりプログラムの設定箇所	24
①歩きやすい空間の拡充プログラム	25
②新たな回遊拠点の創出プログラム	26
③歴史を紡ぐ軸の創出プログラム	27
④賑わいの拠点の発展プログラム	28
まちづくりの「アイデア」	33

<エピローグ> ※浅草の人にフォーカスした編集後記

(仮称) 浅草地区まちづくりビジョンとは

(仮称) 浅草地区まちづくりビジョン（以下「本ビジョン」という）は、浅草地区の多彩な資源を活かした魅力あるまちづくりを進めていくために、概ね20年後のまちの姿や、その実現に向けた短期・中長期的な取り組みを示す「道しるべ」となるものです。

浅草地区のまちづくりは、平成19年6月の「浅草地域まちづくり総合ビジョン」策定以降、東京スカイツリーの開業や外国人を含む観光客の増加など、取り巻く環境が大きく変化しています。そこで本ビジョンでは、住む人や商いをする人の生活様式や、訪れる人が求めるニーズが多様化した時代における、これからのまちづくりの方向性を伝えます。

本ビジョンで対象とする浅草地区は、浅草の中心部とその周辺地域を含むエリアとします。本ビジョンの取り組みは、台東区だけでなく、まちに住む人、商いをする人、関係事業者の皆様と共に取り組んでいく内容を位置づけます。

浅草地区について

浅草は、創建1400年を迎える浅草寺の門前町として発展してきました。江戸時代になると、浅草は江戸市街地に吸収され、参詣・行楽・歓楽を目的とした人々があふれる江戸有数の盛り場となり、大正時代には、六区興行街を中心に娯楽文化の発信拠点となりました。1923年の関東大震災により、当時の浅草区では約7割の家屋が焼失したとされていますが、帝都復興計画の土地区画整理事業の中で現在とほぼ同じ街路が形成され、隅田公園などの都市基盤の骨格が整備されました。

その後、戦災復興を経て、1960年頃までは一大歓楽街として盛大な活気を見せましたが、1964年の東京オリンピック後にカラーテレビが普及すると娯楽が多様化し、映画人気は下火になるとともに、六区興行街の勢いも失われました。苦しい衰退期を乗り越えながら、地域が主体となり、サンバカーニバル等による継続的なまちおこしが推進され、ROXやビューホテルの進出、つくばエクスプレスの開通、地区計画によるロック興行街の再生等により、外国人観光客をはじめ多くの人々が訪れるまちとなりました。

また、現在の浅草は、多方面から鉄道が乗り入れているだけでなく、羽田空港・成田空港といった国際玄関口からのアクセス性も高いことから、どこからでも・どこにでも行きやすい場所となっています。



▲浅草地区の広域的な位置関係（地理院地図/GSI Maps（国土地理院）の航空写真を加工し作成）

I はじめに

この章では、
浅草地区の「まちづくりビジョン」を掲げ、
本ビジョンの「まちづくりのコンセプト」を示します。

Q.

歴史があるまち浅草は、

ふる

旧いのか。





浅草は歴史があるまちです。

資料をひもとくと、その始まりは飛鳥時代にまでさかのぼると言われ、以来、浅草は浅草寺の門前町として1400年にわたって人々に愛されてきました。

浅草が、歴史があるまちであることは疑いようがない事実ですが、ここでひとつの問いが浮かびます。

それは、歴史があるまち浅草は、^{ふる}旧いのかという問いです。

実は、浅草は^{ふる}旧く見えるようで、常に新しいことを取り入れ、変化してきたまちです。

時代によって変化する、愛されるまちの在り方。

これからも浅草を、
まちのみなさまにも、まちを訪れるみなさまにも
ますます愛されるまちにしていきたい。

本ビジョンでは、そんな思いを込めて、
これから20年後を見据えた、まちのビジョンやコンセプトを描きます。

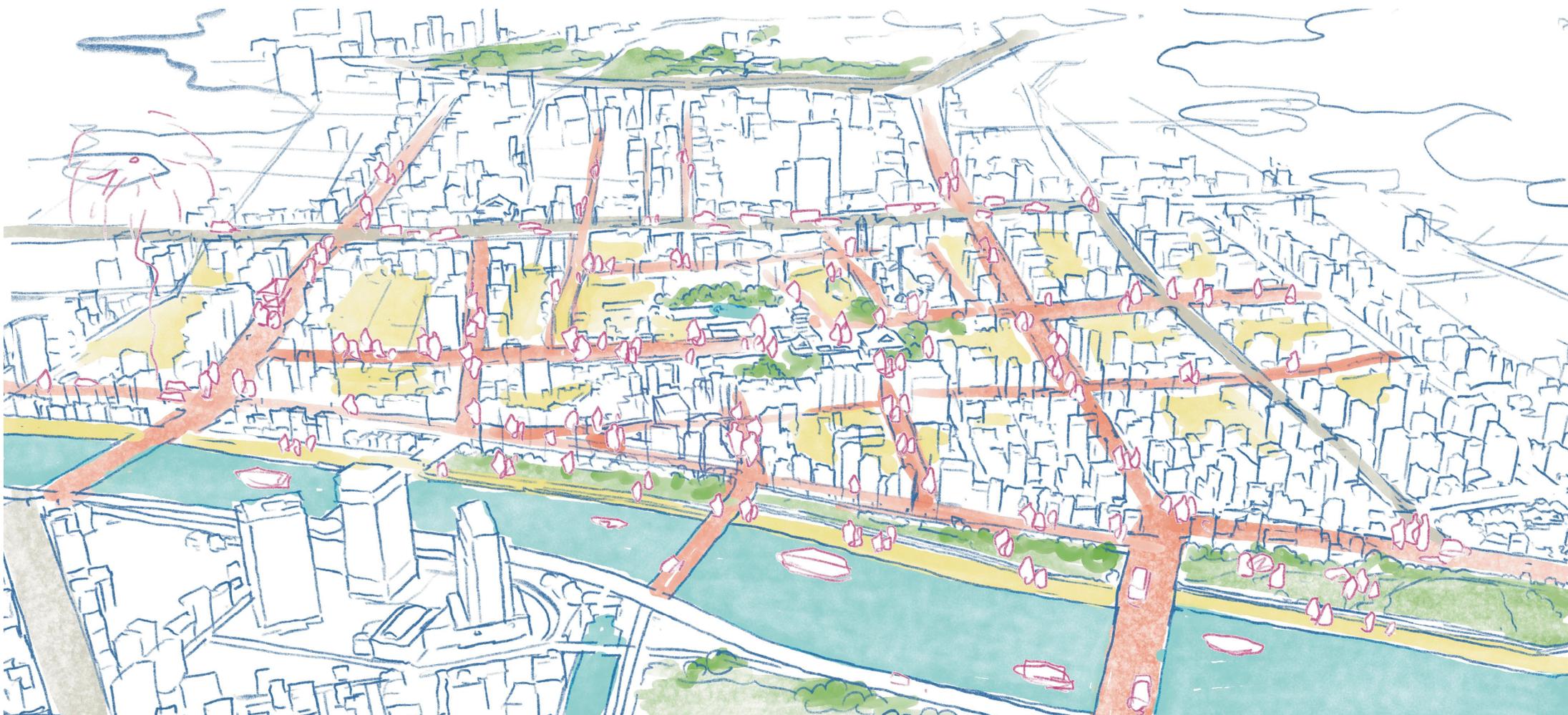
A.

浅草は、常に変化を取り入れてきた
歴史がある、新しいまち。



歴史がある、新しいまち浅草

- ▶ これまで浅草が積み上げてきた歴史や文化を尊重しつつ、新しい考え方や時代の変化も柔軟に受け止めながら、まちが生みだす賑わいや魅力をさらに広げていきます。
- ▶ 浅草で培われてきた暮らしや営みを大切にしながら、“住むまち”としての価値も高めていきます。



ビジョンコンセプトストーリー

20年後から語る浅草のまちものがたり

2047年の浅草は、浅草寺の門前町としての文化資源価値がますます高まり、その独特の文化を求めて国内外から人々が集まるまちになっています。変わらずたくさんの人が集まるまち・浅草は、この20年間の取り組みによって、「まちづくりの理想形」として、たびたび話題に挙がるほどになりました。

まちに住む人・商いをする人から見た浅草



浅草は、昔と比べるとずいぶん過ごしやすくなりました。かつての浅草は、まちの一部に人が集中していて、浅草寺周辺はまるで混雑時の電車に乗っているようでした。観光客が集まるエリアは避けていましたし、住んでいるまちなのに、人が多すぎて自分たちのまちではないような気持ちになることもしばしば。今では、魅力的な文化拠点が点在するようになり、たくさんの人が訪れている割に混んでいない、過ごしやすいまちになりました。

昔は観光地に住むと大変だねと心配されることもありましたが、そんなことはありません。浅草は楽しい時間を過ごすまちですから、行き交う人もみな笑顔。粋な下町人情を感じるまちの様子を見ていると、なんだかこちらもいい気分になってきます。

ここ20年の取り組みでまちが快適になり、みんなの心にもずいぶん余裕が出てきたように感じます。浅草の文化を際立たせる試みの中で、浅草六区を中心に娯楽施設が増えました。どこでも娯楽にアクセスできる時代と言われて久しいですが、こんなに「本物」を感じる娯楽が楽しめるまちは、浅草を置いてほかにありません。

浅草には多面的な魅力があります。少し歩くとまちの景色がめまぐるしく変わります。観光・産業・商業・芸能そして隅田川の自然…。時間軸という観点でも浅草は多面的。一年を通して地域行事があり、そのたび季節の移ろいを感じさせてくれます。

歴史があるからこそ、ほかのまちには真似できないオリジナリティがあり、その唯一性を求めて「このまちに住みたい」という若者も集まってきています。まちを支える若い世代が集まってきているのも、浅草がまちづくりの理想形として注目される理由のひとつですね。

まちを訪れる人から見た浅草



浅草はまず、入口からしてすばらしいまちです。隅田川から浅草に向かう小さな船旅は、特別な気分が味わえます。デッキに出て、気持ちいい風と太陽を浴びながら北へ進み、すれ違う船の乗客が見えると、こちらもよりいっそう心が踊ります。この20年で隅田川の水上交通はその価値が見直され、ずいぶん多くの船が行き交うようになりました。

江戸・東京の人々の暮らしに想いを馳せて景色を眺めていると、あっという間に浅草の船着き場に到着します。そこには広い空と豊かな水辺が広がっていて、ここでしばらく時間を過ごしたくなります。この水辺は、まちづくりを研究する世界中の有識者が視察に訪れるほどレベルが高く、これだけ美しい景観を持ちながら、災害対策にもなっているというから驚きです。

また、浅草は多くの人々が日常的に利用する鉄道も特別です。駅には、このまちらしい演出が施され、「いよいよ浅草に来たな」という気持ちにさせてくれます。かつて、使い勝手が悪いと言われた地下空間も、今は見る影もありません。バリアフリーが施され、誘導サインもわかりやすく、各路線の行き来もしやすい。利便性とオリジナリティが見事に融合したまちの入口になっています。

雷門・仲見世通り・浅草寺…。古くから続く門前町には、今日も活気と下町情緒で満ちています。長年浅草で商売をされている方からまちの歴史や見所を教えてもらったりできるのは、まさに浅草ならではの「粋な買い物体験」だと感じます。

まちの中心部を楽しんだ後は、観光情報にアクセスして、周囲のエリアを楽しみます。近くであれば歩いて安全に行けますし、少し離れたエリアでも、さまざまなモビリティがあるので安心です。まちの情報や中心部以外のエリアにアクセスしやすくなったのも、この20年の大きな変化。エリアごとに特色があり、年中地域行事をやっている浅草は、訪れるたびに新しい発見と出会えるまちですね。

まちづくりのコンセプト

まちに住む人、商いをする人、関係事業者らの声から描いた浅草を実現するために、本ビジョンでは、3つの「まちづくりのコンセプト」を立てます。

快適性を 磨き上げる

季節の移ろいにあわせ、多面的な魅力が広がる。
人とまちの安全に配慮された取り組みが進む。
多様な移動手段が結びつき、アクセス性が高まる。



人・まちを 結わえる

エリアごとに特色のあるまちでゆったり過ごす。
駅まち空間では、浅草に来た「高揚感」が高まる。
水辺とまちが近く、船に乗れば色々な場所へ行ける。



文化を 際立たせる

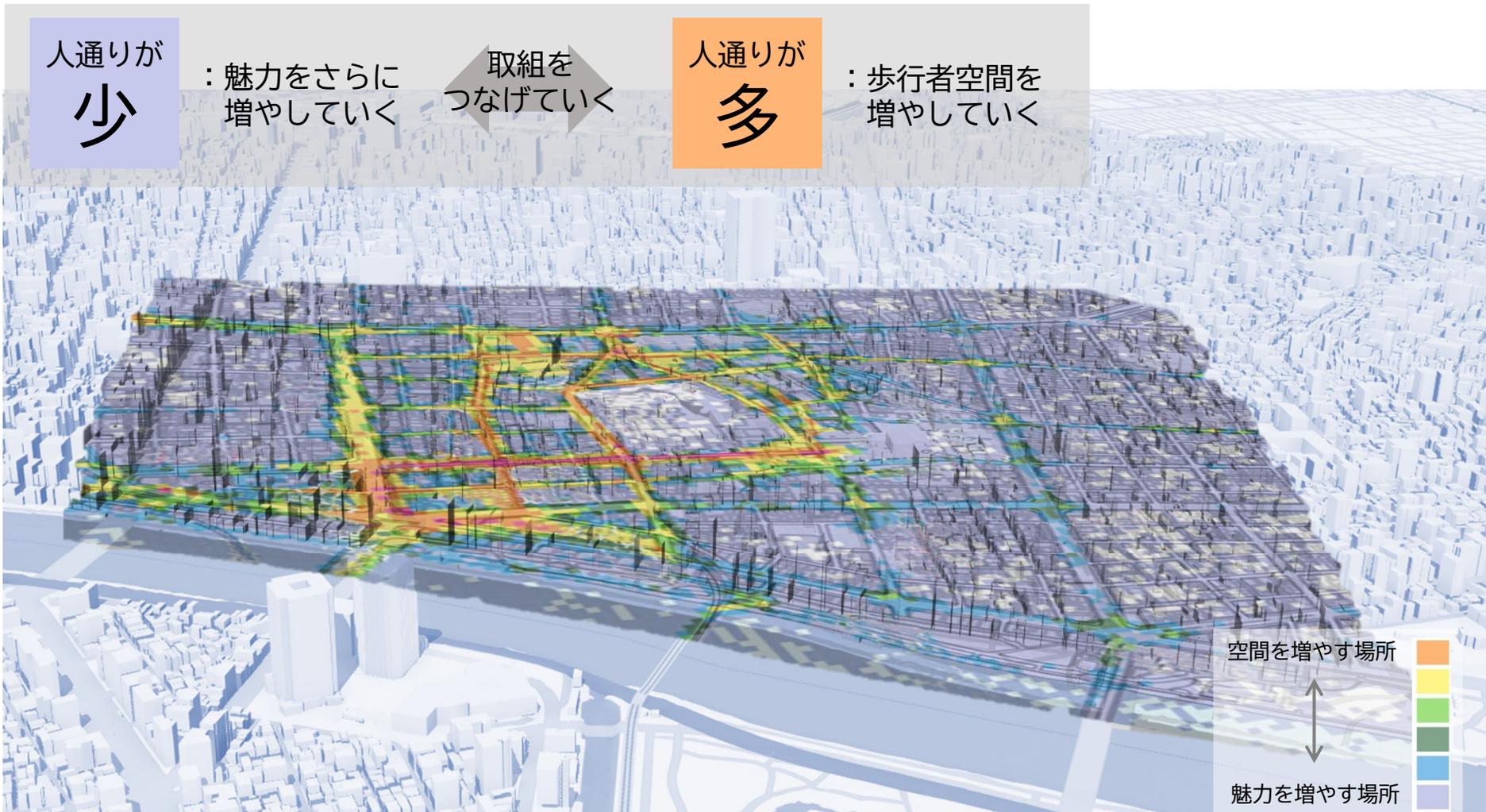
下町情緒溢れる文化拠点があちこちに点在する。
ここにしかない文化・コンテンツがたくさんある。
たくさんの人を心地良くさせるおもてなしがある。



コンセプトの実現に向け大切にしたいポイント

浅草には歴史ある魅力的な場所や水辺をはじめとする、都市の中の貴重なオープンスペースが存在しており、まちに住む人、商いをする人、訪れる人はそれぞれの目的地に向かっていきます。

この多様な魅力をさらに引き立てるため、又は新しい魅力を発見してもらうため、人通りが多い場所では歩行者空間を広く確保し、人通りが少ない場所では、目的地となりうる魅力をさらに増やすことで、まち全体がにぎわい、活気にあふれるような、浅草ならではのまちづくりにつなげていきます。



▲空間・魅力を増やす場所の形成（現状の浅草地区における人通りの状況）

II 実現に向けた取り組み

この章では、
前章の「まちづくりのコンセプト」に基づき、
浅草の特性を踏まえた9つのアプローチを掲げ、
各アプローチに沿った具体的な"取り組み"について示します。

各アプローチの読み方 (p. 15-20)

- **コンセプトの名称**
各アプローチが、I章で示した「まちづくりのコンセプト」のどれに該当するかを示しています。
- **未来のまちの姿**
各コンセプトに紐づく「アプローチ」を実行することで、将来にどのようなまちの姿になっているかを示しています。
- **イメージイラスト**
各コンセプトに紐づく「アプローチ」を、具体的にまちのどのような空間で実行するかについて、吹き出しとあわせて示しています。
- **「アプローチ」の番号とタイトル**
各アプローチの番号とタイトル（名称）を示しています。
- **各「アプローチ」の意図**
各アプローチの実現に向けて、実践する具体的な行動を示しています。
- **実現に向けた取り組み**
各アプローチの実現にあたって、実践する具体的な取り組みのメニューを、短期・中長期の時系列ごとに示しています。
取り組みの内容については、特定の場所や人などに限定せず、汎用性を持たせた記載としています。



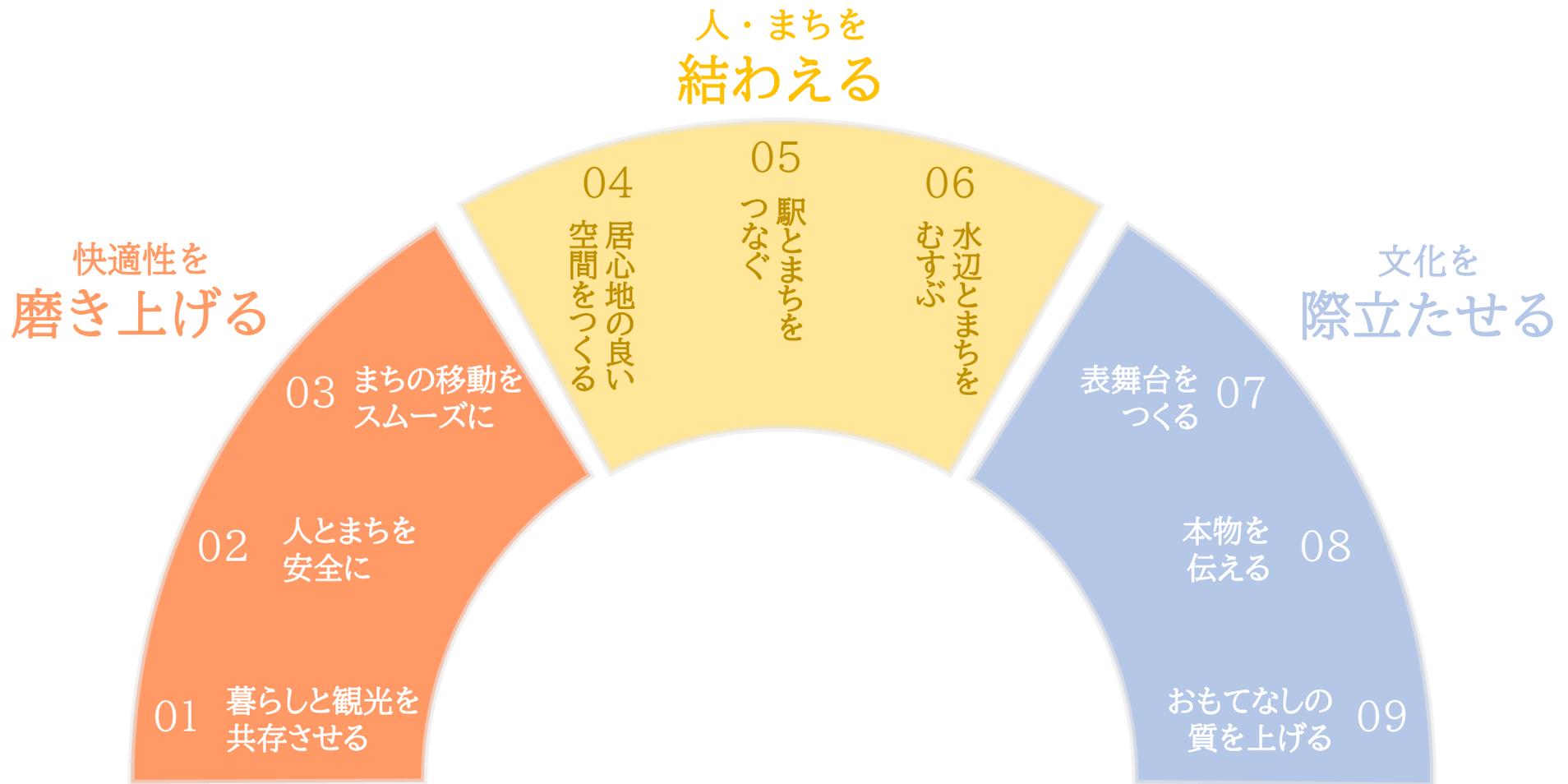
まちづくりのコンセプトに基づくアプローチ

魅力ある空間の質や人の心（ホスピタリティ）を向上させ、快適性を磨き上げること。

地区内の街路や軸を空間的・精神的につなぎ、人・まちを結わえること。

まちのなかに散りばめられた魅力を明確にし、文化を際立たせること。

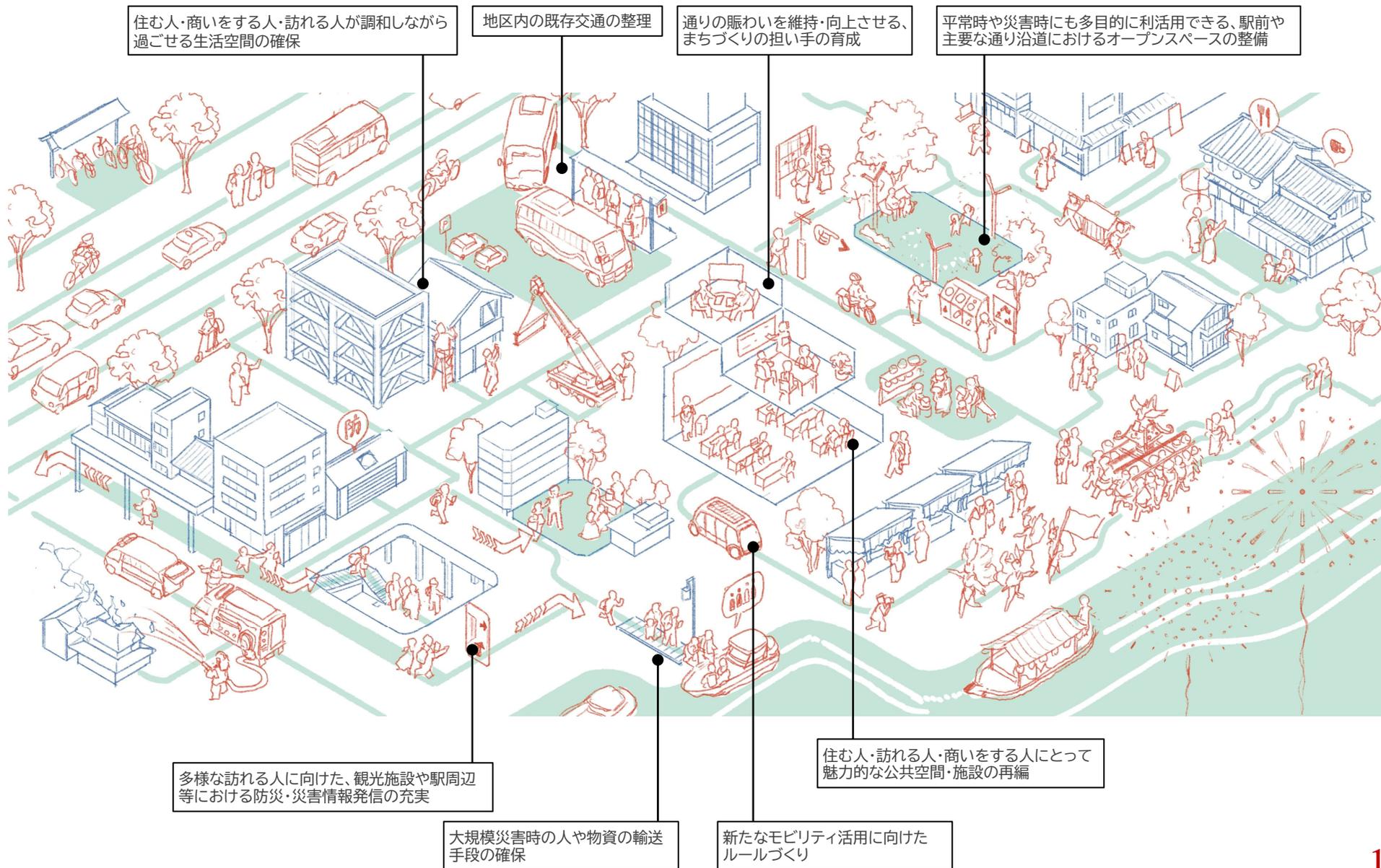
これらのコンセプトに基づき、9つのアプローチを掲げ、まちづくりの取り組みを推進していきます。



未来のまちの姿

- 四季の行事や歴史を継承し、浅草で紡がれてきた生き生きとした暮らしや営みが身近にあるまち
- 新たな価値観を柔軟に受け入れ、住む人・商いをする人・訪れる人が調和して快適に過ごすまち
- 訪れる人にも優しく、国際観光拠点にふさわしい災害時にも不安感0のまち

快適性を磨き上げる



アプローチ

1 暮らしと観光を 共存させる

- ▶ 浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が互いに交流できる取り組みを広げながら、まちづくりの担い手を育てていくとともに、最新技術やデータを活用し、住む人は便利に、訪れる人は快適に、そして地元のサービスや観光業がより魅力的になる工夫をしていきます。
- ▶ 建物の更新時における浅草独自のルールにより、浅草らしい歴史や風情、賑わいあるまち並みを守ります。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出
- 暮らしや観光の快適性や利便性向上につながる、まちづくりデータ基盤の構築

【中長期】

- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な公共空間・施設の再編
- 通りや水辺空間の賑わいや維持管理に取り組むエリアマネジメントの活性化
- 浅草で起業したい人々がチャレンジできる機会の創出

アプローチ

2 人とまちを 安全に

- ▶ 地上・地下のオープンスペースを拡充し、日常利用と災害時避難場所の両機能を強化し、安全性を高めます。
- ▶ 災害時対応の強化、舟運を活用した避難ネットワークの整備、気候変動対応のグリーンインフラ導入など、防災・減災対策を進めます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 多様な訪れる人に向けた、観光施設や駅周辺等における防災・災害情報発信の充実
- 帰宅困難者に関する避難誘導対策の強化
- 大規模災害時の人や物資の輸送手段の確保
- 酷暑や豪雨等、近年の気候変動にも対応した、安全かつ快適な屋外空間の整備

【中長期】

- 平常時や災害時にも多目的に活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備
- 都市基盤整備に合わせた、備蓄倉庫等の防災機能の充実

アプローチ

3 まちの移動を スムーズに

- ▶ 社会実験を通じて新たなモビリティを段階的に導入するとともに、既存交通のあり方を整理し、歩行者空間との役割分担を明確化します。
- ▶ 歩行者中心の道路空間の形成に加え、路線バスやタクシー等の公共交通、舟運等の浅草ならではの移動手段との結びつきを強化します。

実現に向けた取り組み

【短期】

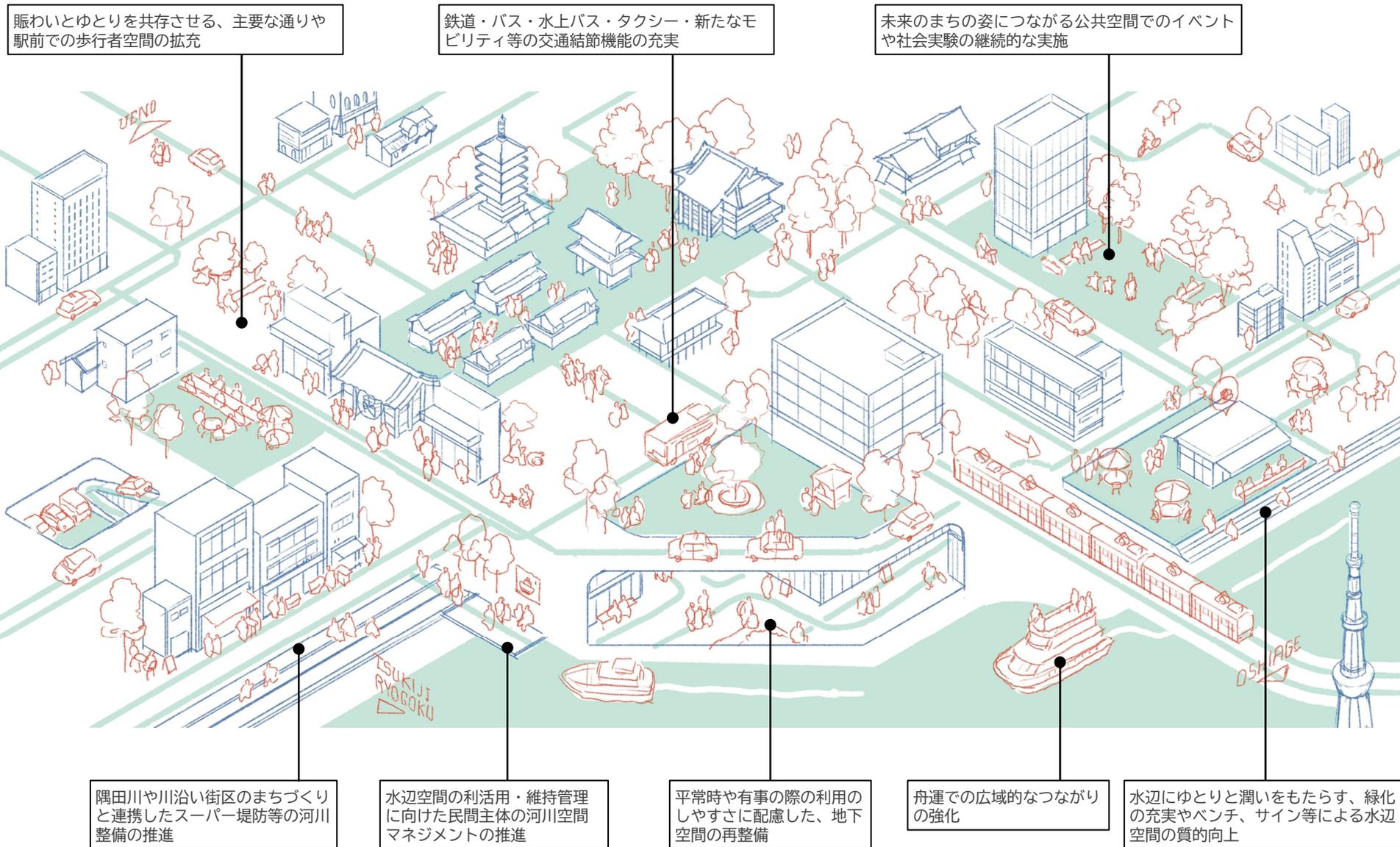
- 地区内の既存交通の整理
- 新たなモビリティ活用に向けたルールづくり

【中長期】

- 周辺地域とのつながりを強化する、新しいモビリティ等を活用した交通ネットワークの形成
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保

未来のまちの姿

- 広域的な軸や地区外への広がりや寄与する拠点づくりが進んだまち
- 駅とまちが一体的につながり、誰もが分かりやすく使いやすい交通結節点があるまち
- 住む人・商いをする人・訪れる人がともに楽しめるような、安らぎと賑わいが調和する水辺空間が身近にあるまち



人・まちを結わえる

アプローチ

4 居心地のよい空間をつくる

- イベントや社会実験を通じて公共空間の活用法を検証し、歩いて楽しい歩行者空間や滞留空間の充実を段階的に進めます。
- 通りごとの個性を活かした無電柱化や舗装・ファサードの美装化を進め、各場所の街並みや空間デザインに配慮するとともに、浅草の歴史ある建物や雰囲気を持・保全し、多くの人にその歴史を感じてもらえるようにします。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 未来のまちの姿につながる公共空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 浅草の個性や文化を感じさせる建物や街並みの維持・保全

【中長期】

- 賑わいとゆとりを共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 休憩や待合せなど多様なニーズに対応した滞留空間の充実
- 地区内外の個性ある資源に訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備

アプローチ

5 駅とまちをつなぐ

- 駅機能の更新と連携して交通結節拠点を形成し、鉄道駅間や他交通との乗換空間を地上・地下一体でバリアフリー化します。
- 利用者がスムーズに移動できるネットワークを構築し、わかりやすく移動しやすい地下空間の再整備を進めます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- まちづくりプログラムの推進協議会での検討

【中長期】

- 浅草3駅（東武・メトロ・都営）を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- 浅草駅（TX）や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備

アプローチ

6 水辺とまちをむすぶ

- 隅田川や隅田公園、川沿いのまちをつなぐ空間整備で人々の往来と賑わいを創出し、周辺のウォーターフロントにアクセスできるよう、舟運や防災船着場の活用を進めます。
- まちづくりと連携したスーパー堤防等の整備により、平常時も災害時も人が集まれる拠点を作ります。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体の河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進

【中長期】

- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 水辺にゆとりと潤いをもたらす、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上
- 舟運での広域的なつながりの強化

未来のまちの姿

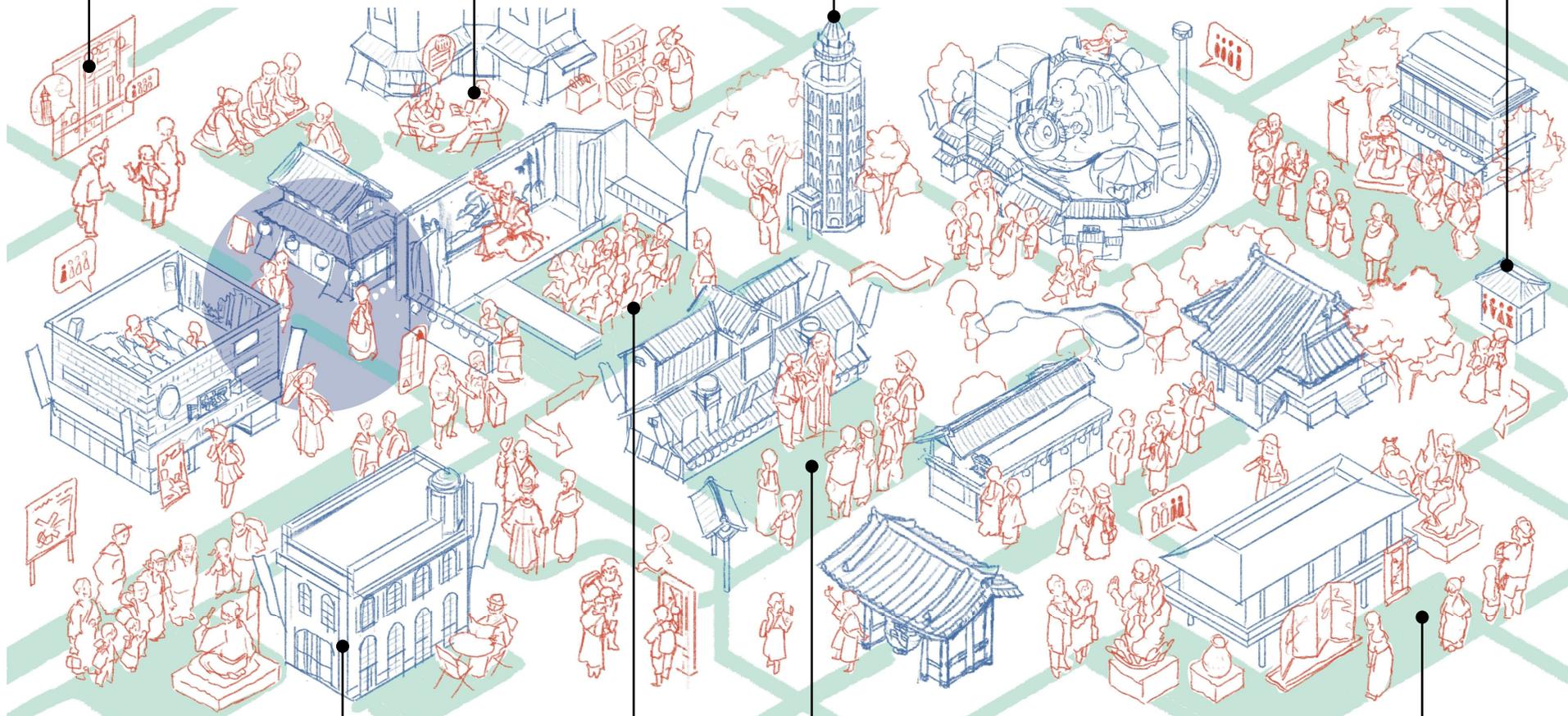
- 伝統と革新が調和し、国際観光拠点として国内外の多くの人々が魅力を感じる多面的な文化や、芸能・娯楽があるまち
- まちなみや地域資源の継承・活用を通じて、浅草に根付く歴史や文化や産業を大切にする心を伝えられるまち
- 浅草のまちにホスピタリティが溢れ、訪れる人を快適に受け入れることができるまち

広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートが発信

公共空間や空き店舗などを活用した休憩スペースや案内サービスの充実

興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進

まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発



伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり

「芸の聖地」浅草の 대중芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実

幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施

1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備

文化を
際立たせる

アプローチ

7 表舞台をつくる

- ▶ 浅草寺などの文化資源を大切に育みながら、浅草独自の伝統・文化・芸能を活かした多様なイベントを提供し、ブランド価値を高める場づくりを進めます。
- ▶ 景観やまちの特性に配慮したルール導入と空間整備により、浅草に住む人・商いをする人・訪れる人が誇りに思えるまちを目指します。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 生活に根付いた祭りやイベントに合わせて改変が可能となるまちの環境整備

【中長期】

- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実

アプローチ

8 本物を伝える

- ▶ 浅草の歴史・文化・魅力を様々なメディアや手法で積極的に発信し、多くの人に学びや発見の機会を提供します。
- ▶ 「浅草でしかできない体験」を磨き上げ、国内外に戦略的にプロモーションすることで、訪れる方に希少性の高い体験を楽しんでもらいます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 幅広い世代に向けた、浅草の歴史・まち・文化への理解を深めるための情報発信とイベントの実施
- 付加価値の高いものづくり産業を支える環境整備
- 広がりのある浅草を楽しめる、おすすめの観光ルートの発信

【中長期】

- 住む人・訪れる人がともに堪能できる、環境変化に応じた個店力の強化

アプローチ

9 おもてなしの質を上げる

- ▶ 快適に観光してもらうための休憩スペースや案内サービスなどの受入環境を段階的かつ計画的に整備・充実していきます。
- ▶ 住む人・訪れる人・商いをする人が快適に過ごせるよう衛生環境を整え、地域と観光の共存のためのマナー啓発を進めるとともに、混雑緩和に取り組みます。

実現に向けた取り組み

【短期】

- 公共空間や空き店舗などを活用した休憩スペースや案内サービスの充実
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- オンライン観光案内・混雑情報の発信による歩行者空間の拡充

【中長期】

- ナイトタイムでの観光を促す滞留空間やコンテンツづくりの整備

(白紙)

III 戦略的まちづくりプログラム

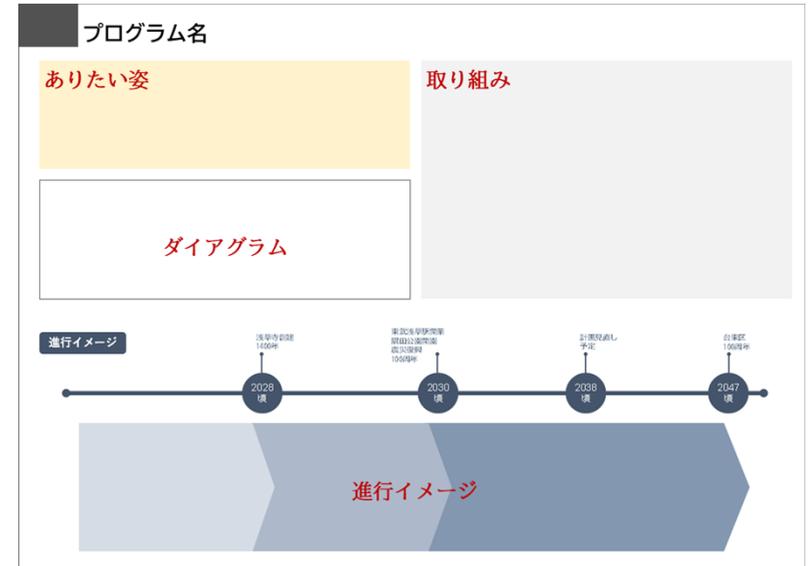
この章では、前章の各取り組みのうち、
浅草地区における未来のまちの姿の実現に特に影響するものを
「戦略的まちづくりプログラム」として束ね、
プログラム単位で進め方や実現イメージについて示します。

各プログラムの読み方 (p. 25-28)

- **ありたい姿**
そのプログラムを実行することで「どのようなまちに変わっていくか」のポイントを示しています。
- **ダイアグラム**
そのプログラムを実行することで、現状からどのように「ありたい姿」へと変わっていくかについて、その概念図と説明文を示しています。
- **取り組み**
そのプログラムの実行にあたり、Ⅱ章で示した“各アプローチ”に紐づく「実現に向けた取り組み」の中で、戦略的に実践すべき内容を抽出し、示しています。
- **進行イメージ**
特定の場所及び目的をもって実施する上記の取り組みを「進行イメージ」として再構成しています。
実践する内容については、浅草における大切な節目を一つの目標地点として時系列で整理し、短期・中長期それぞれの段階に応じた記載内容となっています。

各パースの見方 (p. 29-32)

- **イメージパース**
そのプログラムを実行することで「どのようなまちに変わっていくか」のイメージを示しています。
なお、イメージの内容は決定したものではなく、今後のまちづくりにつながるヒントとしての一例を示したものです。
- **説明文**
各イメージパースで広がっているシーンを示しながら、設定しているアングルの意図を説明するものです。



戦略的まちづくりプログラムの設定箇所

「戦略的まちづくりプログラム」は、空間として大きく再編される場所、現状の空間を維持しつつ魅力を増やしていく場所の中でも、まち全体に好影響が広がり、波及効果が最大化されていくことを狙いとして、場所と取り組みを戦略的に抽出し、整理しています。

④ 賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)

主に該当するアプローチ:

- 1 暮らしと観光を共存させる
- 3 まちの移動をスムーズに
- 4 居心地の良い空間をつくる
- 5 駅とまちをつなぐ
- 7 表舞台をつくる
- 8 本物を伝える

③ 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)

主に該当するアプローチ:

- 2 人とまちを安全に
- 3 まちの移動をスムーズに
- 6 水辺とまちをむすぶ
- 7 表舞台をつくる
- 8 本物を伝える



② 新たな回遊拠点の創出プログラム (浅草駅・隅田川周辺)

主に該当するアプローチ:

- 2 人とまちを安全に
- 3 まちの移動をスムーズに
- 5 駅とまちをつなぐ
- 6 水辺とまちをむすぶ

① 歩きやすい空間の拡充プログラム (浅草地区全体)

主に該当するアプローチ:

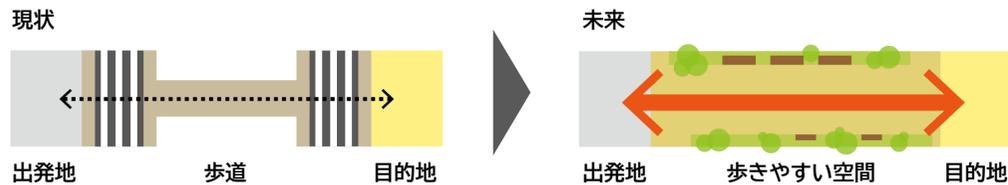
- 1 暮らしと観光を共存させる
- 4 居心地の良い空間をつくる
- 9 おもてなしの質を上げる

① 歩きやすい空間の拡充プログラム（浅草地区全体）

ありたい姿

まちの再編にあわせ、歩行者空間の再編・創出を行い、「歩きやすい空間」をまちのあちこちに広げます。

- 訪れる人で溢れているまちなかでは、混雑が解消され、快適な訪問・滞在ができる環境を確保します。
- 空間の利活用にまつわるイベントや社会実験が重ねられ、歩いて巡ることの楽しさをさまざまな形で感じることができる環境を確保します。

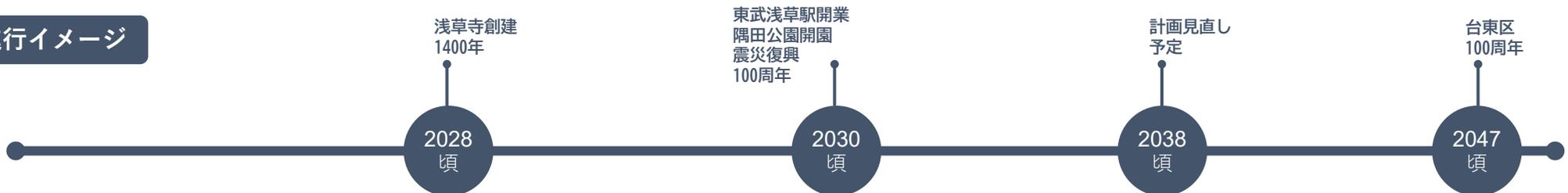


過密な歩行者空間と滞留空間で構成されている状況を改善して、住む人・訪れる人が心地良く歩いて楽しめる空間の創出を図ります。

取り組み

- 賑わいとゆとりを共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 平常時や災害時にも多目的に活用できる、駅前や主要な通り沿道におけるオープンスペースの整備
- 避難場所等へ安全かつスムーズに移動ができる通りの整備
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる公共空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- まちなかのトイレ環境の充実と利用マナーの啓発
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり
- 地区内の既存交通の整理
- 新たなモビリティ活用に向けたルールづくり

進行イメージ



- ・ エリアマネジメント団体等の組成
- ・ 歩行者空間の拡充に向けた社会実験やあり方検討
- ・ モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの検討
- ・ 多様なニーズを踏まえた受入環境に向けた検証
- ・ 主要な通りや駅前における景観ルール、駐車場ルール導入に向けた検討

- ・ エリアマネジメント人材の育成
- ・ 社会実験やあり方検討を踏まえた、道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充方針の作成
- ・ モデル地区におけるまちなみの維持に必要な建替えルールの導入
- ・ 受入環境の段階的な運用

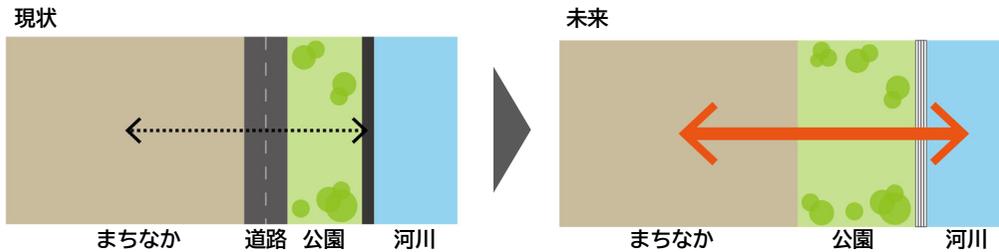
- ・ エリアマネジメントによる持続可能な活動の展開
- ・ まちなみの維持保全・適切な建物更新
- ・ 道路空間や地下空間等の歩行者空間拡充ネットワークの実現
- ・ 地区内での建替えルールづくりの推進
- ・ 時代のニーズに即した、持続可能な受入環境の運用
- ・ 景観ルールや駐車場ルール等の作成・運用
- ・ 一部路線の無電柱化
- ・ 自転車通行空間の確保

② 新たな回遊拠点の創出プログラム（浅草駅・隅田川周辺）

ありたい姿

まちの再編にあわせ、滞留空間の創出・交通結節機能の充実・拡充を行い、これとともに浅草駅や地下施設等を更新した「浅草の新たな回遊拠点」として発展させます。

- 鉄道・バス・水上バスなどの公共交通の利用がしやすく、利便性が高い交通環境を確保します。
- 隅田川周辺では、水辺とまちが一体的につながった空間を確保します。
- 観光や平常時の憩いだけでなく、災害時の避難にも対応できる空間を確保します。

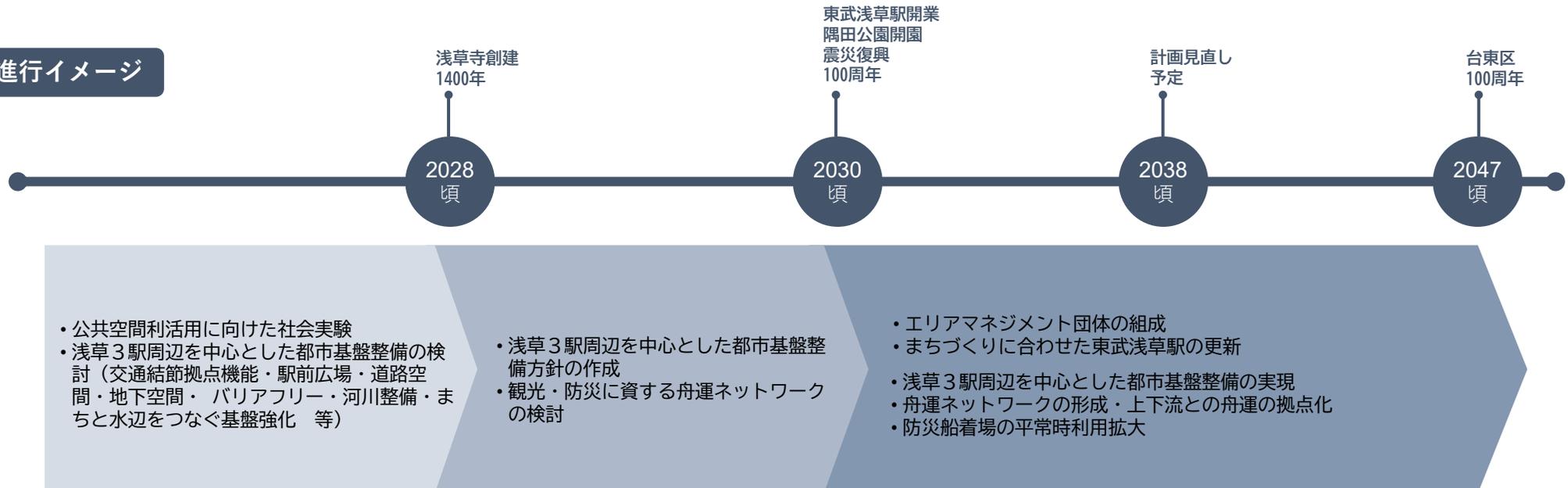


堤防と道路によりまちなかと水辺空間（公園・河川）が分断されているため、親水空間と歩きやすい歩行者空間を創出することで、まちなかと水辺空間のつながりを再生します。

取り組み

- 賑わいとゆとりを共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 鉄道・バス・水上バス・タクシー・新たなモビリティ等の交通結節機能の充実
- 浅草3駅（東武・メトロ・都営）を中心とした、新たな都市基盤・回遊拠点整備の推進
- まちづくりに合わせた東武浅草駅の更新
- 平常時や有事の際の利用のしやすさに配慮した、地下空間の再整備
- 隅田川や川沿い街区のまちづくりと連携したスーパー堤防等の河川整備の推進
- 水辺に訪れたいくなる、緑化の充実やベンチ、サイン等による水辺空間の質的向上
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 舟運での広域的なつながりの強化
- 災害時における隅田川の舟運の活用
- 未来のまちの姿につながる公共空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 水辺空間の利活用・維持管理に向けた民間主体の河川空間マネジメントの推進
- 水辺に居心地よく滞在できるイベント等との連携・PR促進

進行イメージ

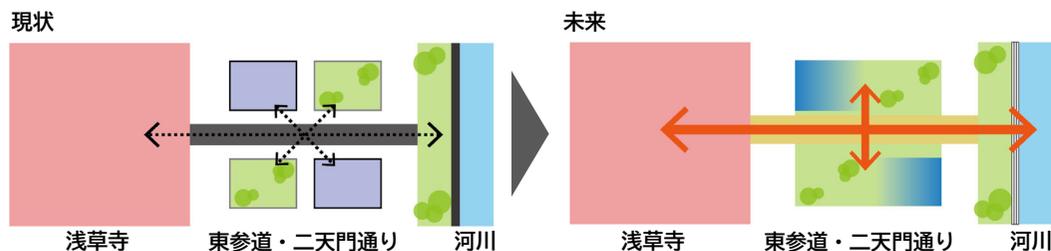


③ 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (東参道・二天門通り周辺、浅草寺周辺)

ありたい姿

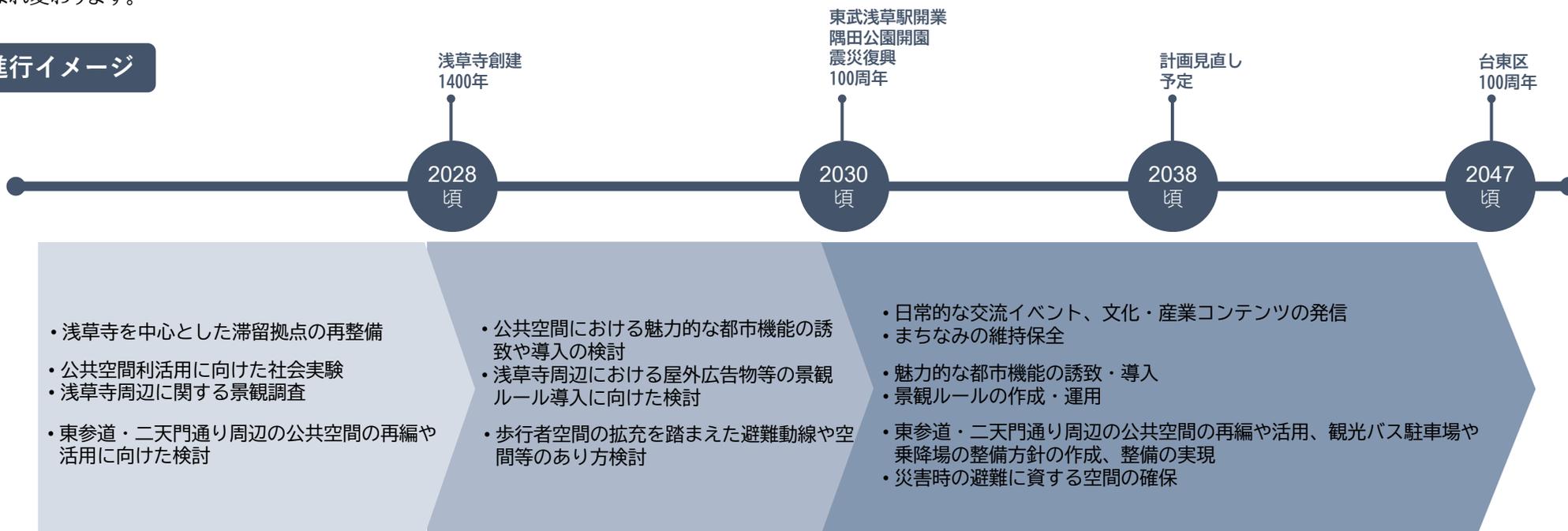
住む人や訪れる人が快適に回遊できる動線を整備し、「浅草の歴史を紡いできた二大空間（浅草寺・隅田川）を結ぶ東西軸」として発展させます。

- 浅草寺と隅田川の東西の往来を促進するような動線を確保します。
- 二天門前や隅田公園付近では、東西の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 沿道の公共空間の再編とあわせ、建物ファサードや屋外広告物の統一感ある景観づくりを推進します。



浅草寺から隅田川へとつながる空間では公共施設と公園が個別に配置されており、個々の空間となっている状況から、住む人・訪れる人・商いをする人が集える一体的な空間として生まれ変わります。

進行イメージ



取り組み

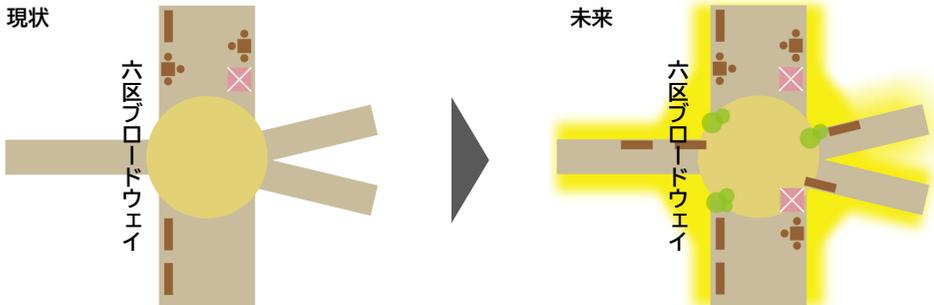
- 1400年を超える歴史文化を伝える、新たな滞留拠点の整備
- 賑わいとゆとりを共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 休憩や待合せなど多様なニーズに対応した滞留空間の充実
- 住む人・商いをする人・訪れる人にとって魅力的な公共空間・施設の再編
- 都市基盤整備に合わせた、観光バスや自転車の駐車場等の都市施設の確保
- 避難場所等への安全かつスムーズに移動ができる通りの整備
- 未来のまちの姿につながる公共空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 伝統ある文化と活気に溢れた、浅草らしさが感じられる屋外広告物等の景観ルールづくり

④ 賑わいの拠点の発展プログラム (六区ブロードウェイ周辺)

ありたい姿

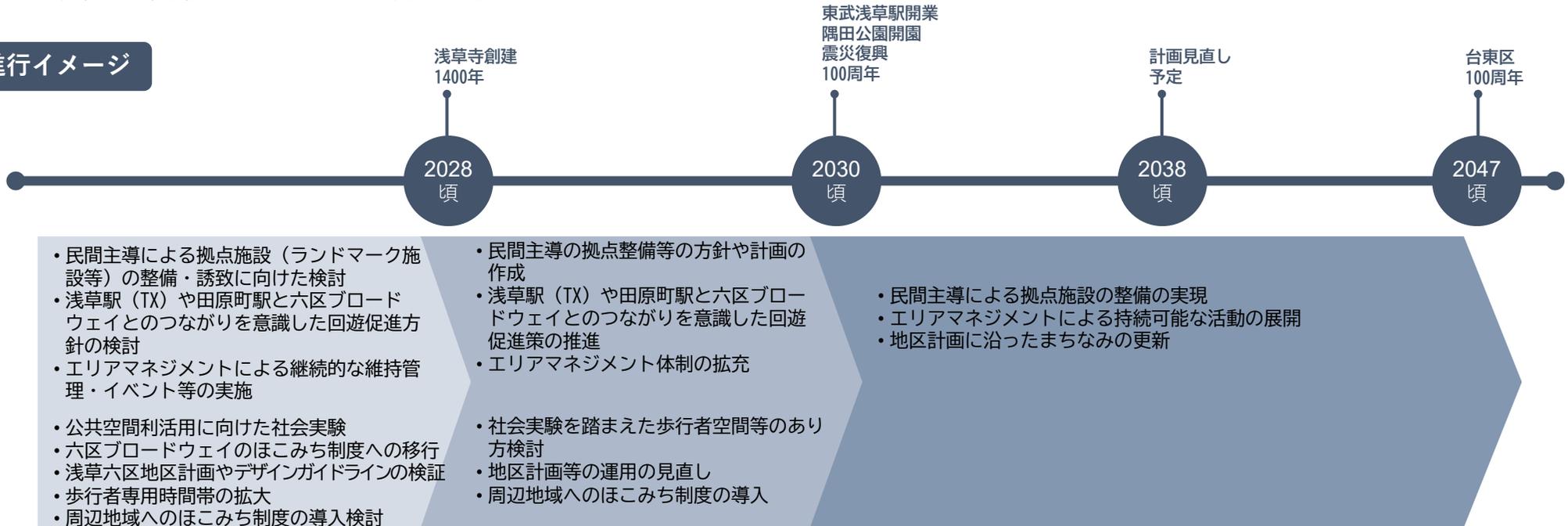
地域による活動が活発に行われている、「賑わいのある西の回遊拠点」として発展させます。

- 興行や大衆芸能の中心地として、浅草のにぎわいを支えてきた数々の取り組みを展開します。
- 主要な通りでは、快適に通行でき、人々の往来を十分に受け止め、歩行者がゆったりと滞留できる空間を確保します。
- 地区の西側を代表する観光拠点が生まれ、東側を訪れた人の集客を促進します。



六区・ブロードウェイ通りのにぎわいを波及させるため、そこに交わる主要な通りと滞留空間を拡充し、興行や大衆芸能の中心地としてさらに発展します。

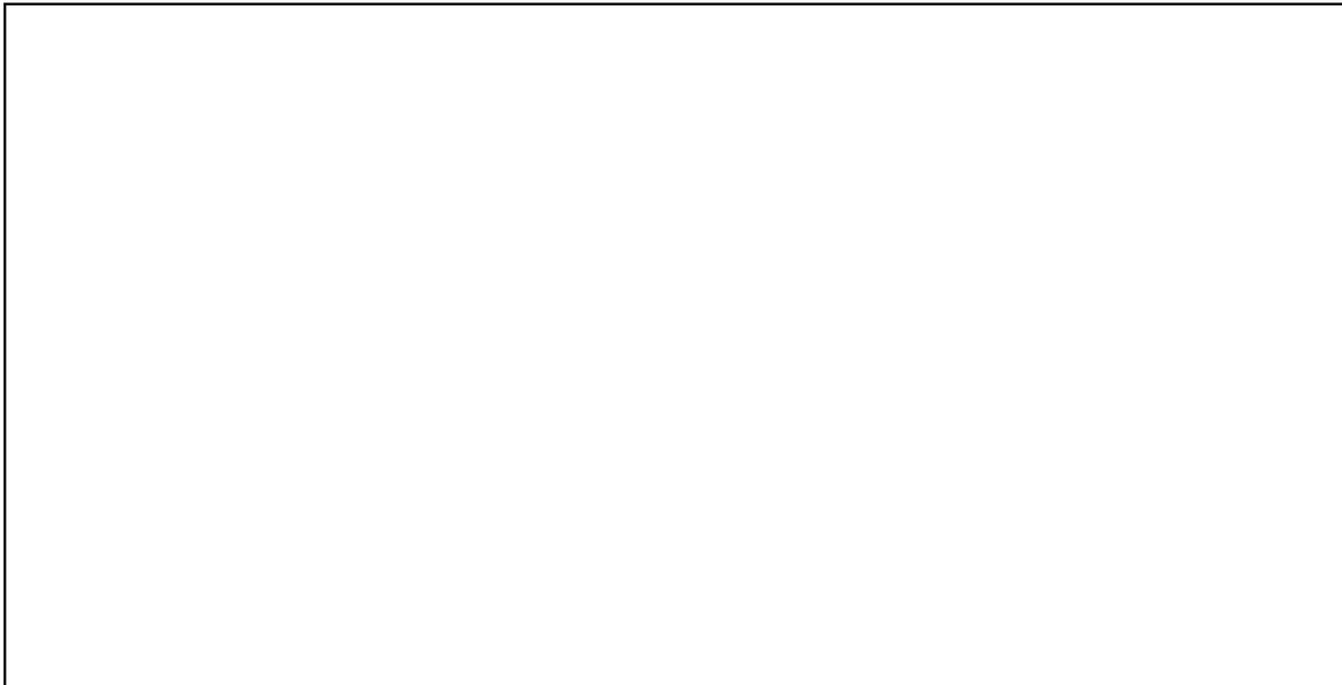
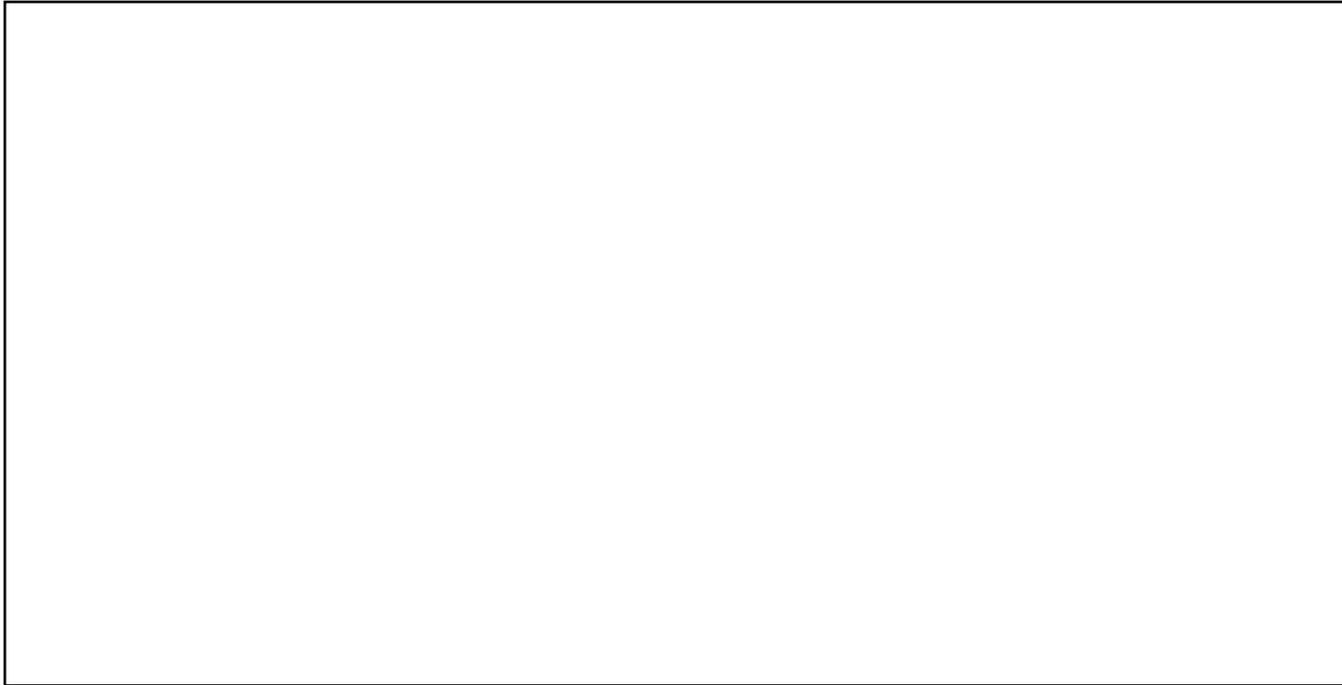
進行イメージ



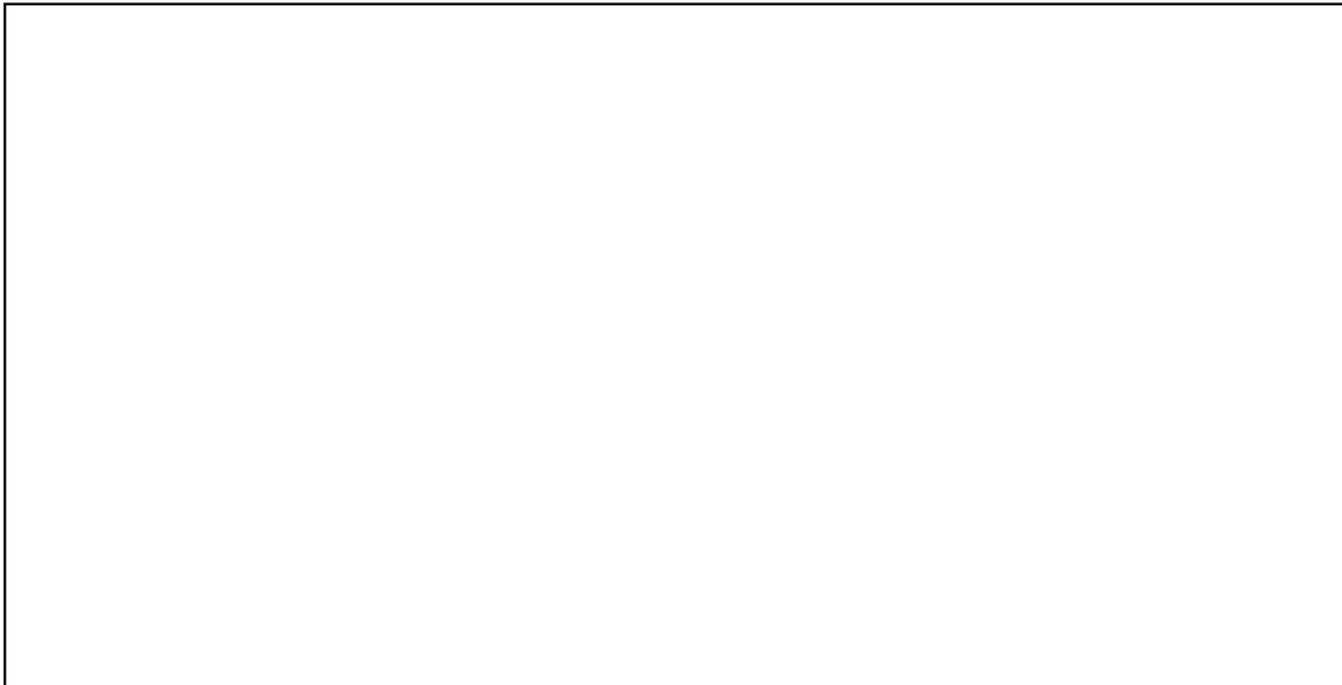
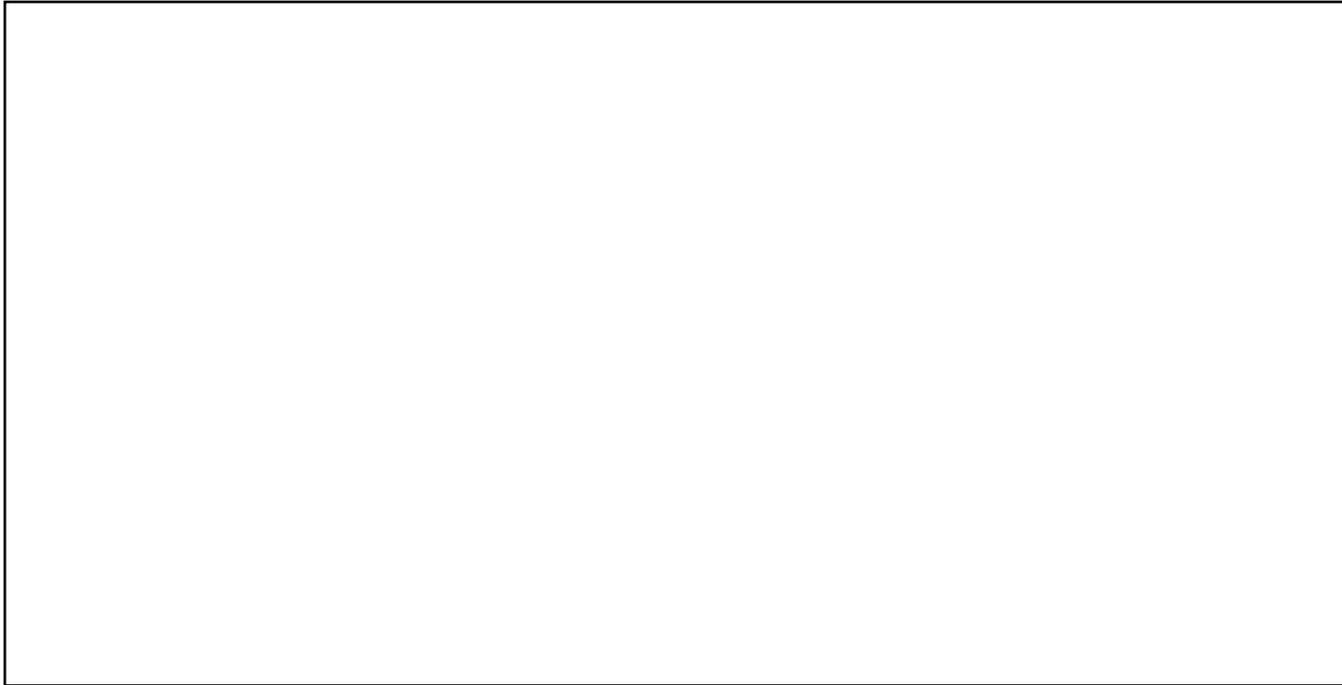
取り組み

- 賑わいとゆとりを共存させる、主要な通りや駅前での歩行者空間の拡充
- 休憩や待合せなど多様なニーズに対応した滞留空間の充実
- 地区内外の個性ある資源を訪れたいくなる、人々の往来や誘引性を高める設え
- ストーリー性を感じることができる商店街ファサードの整備
- 興行街の歴史を活かした地区のシンボルとなる滞留拠点の整備事業の推進
- 浅草駅（TX）や田原町駅と六区ブロードウェイとのつながりを意識した回遊の促進
- 「芸の聖地」浅草の大衆芸能の文化を体験し、楽しめる場の充実
- 住む人・商いをする人・訪れる人が調和しながら過ごせる生活空間の確保
- 通りの賑わいを維持・向上させる、まちづくりの担い手の育成
- 未来のまちの姿につながる公共空間でのイベントや社会実験の継続的な実施
- 商店街等における人と人がつながる機会の創出

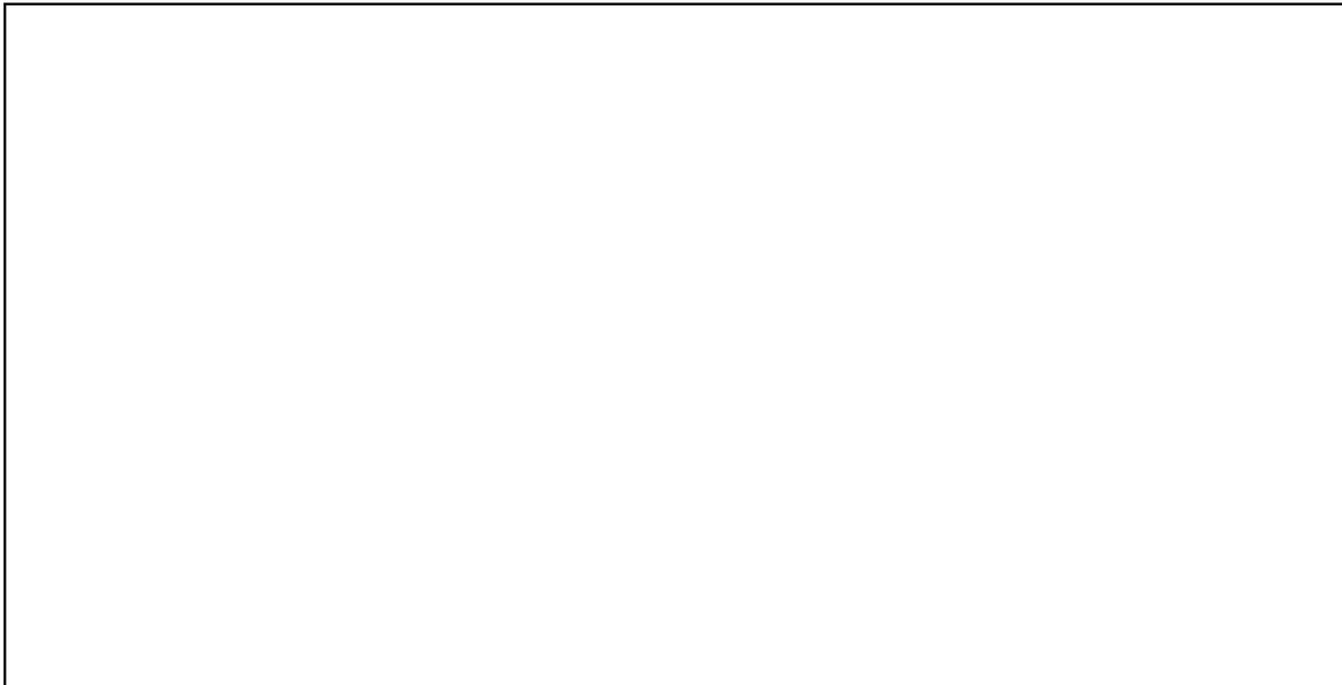
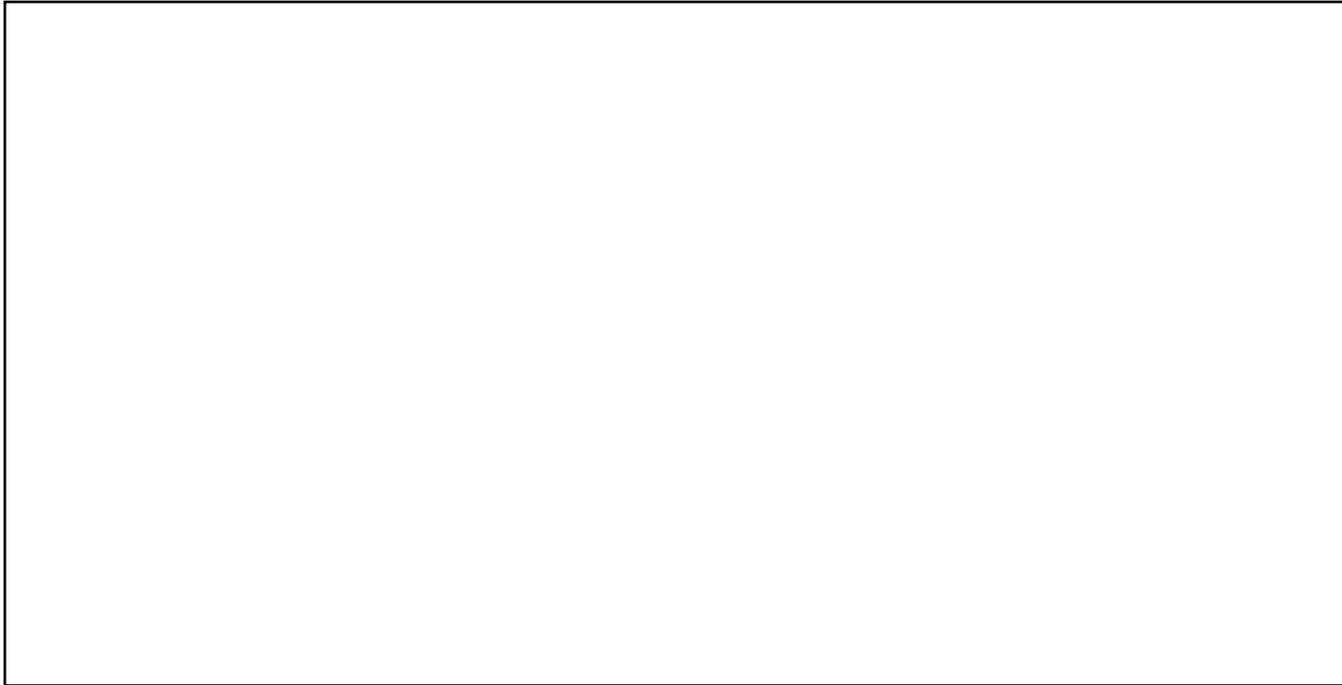
① 歩きやすい空間の拡充プログラム (イメージパース図)



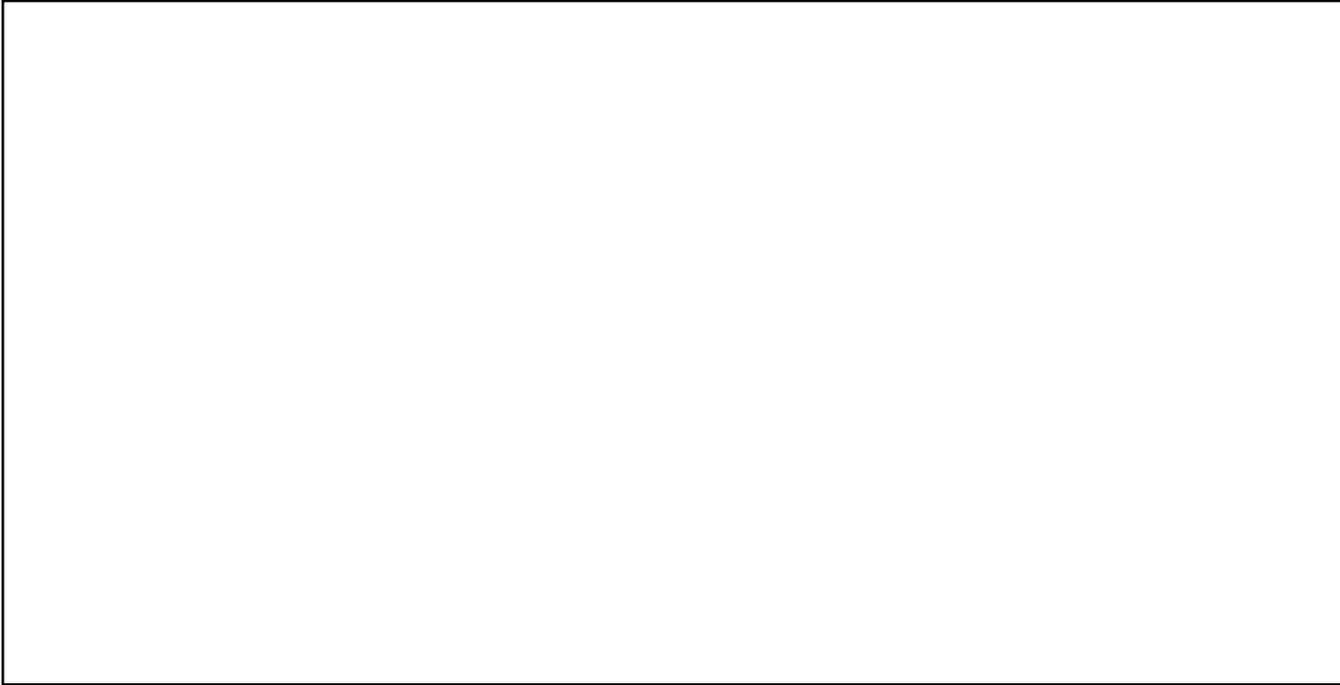
② 新たな回遊拠点の創出プログラム (イメージパース図)



③ 歴史を紡ぐ軸の創出プログラム (イメージパース図)



④ 賑わいの拠点の発展プログラム (イメージパース図)



まちづくりの「アイデア」

まちづくりビジョンの検討ステップにおいて、地域の方々より、まちの将来イメージにつながるご意見をたくさんいただきました。

Ⅱ・Ⅲ章に示す「取り組み」の他にも、本ビジョン策定に関わった地域の方々の未来のまちの姿に対する想いや、いつか実現できたらよいと考える取り組みを「アイデア」としてご紹介します。

観光

- 普段からワクワク（イベントがなくても魅力的）
- まちに来ると色々な話をできたり、店先に親父さんや女将さんがいて、店主とのコミュニケーションが楽しいまち
- 興行をしたい人へのメリットがあるような、官民連携での誘導
- 江戸芝居小屋の整備
- 浅草とスカイツリーをつなぐ一大回遊動線を創出する光の道（スカイツリー～浅草寺～観音裏地区へとつながるライトアップの演出）
- 隅田川の船着場と隅田公園、浅草地区西側のつくばエクスプレスとをつなぐ等の参道整備
- 伝統工芸の各工房における作品展示場やカフェの併設
- 滞在時間を延ばすコト消費
- 夜の飲食や観光で、宿泊を増やすことによる観光客の滞在時間の延長
- 言問通りにおける、マルシェ開催などのイベントの実施・水辺方面や上野方面への賑わいの広がり
- 芸者の魅力発信及び料亭を増やすための仕組みづくり
- 富裕層にも対応した本物を感じさせる高質な商品・サービス
- ボランティアガイドのレベルアップ・有償化
- 地域のお店紹介とセットとなったまちのガイドの普及
- 店舗同士の協力
- 時間的分散を図る工夫
- 浅草ならではの過ごし方を示す「浅草ルール」のようなものの作成と、観光客への発信
- 公共施設や民間施設のトイレや喫煙所利用に関する一般開放呼びかけ

住環境

- 浅草の魅力は人。人とのつながりや、人の継承に力を入れていくことが重要
- まちの良さは、住んでいる人の活力が重要
- 昔から浅草に住んでいる人と、新たに引っ越してきた人との良好な交流・コミュニティづくり
- 住む人や商いをする人のための施設・居場所づくり・満足度向上
- 新規出店者と昔から店舗を営んでいる人とのつながりの強化・若い経営者への支援
- 新規出店者の意識・ルールづくり
- 各商店街の連携による地域の活性化
- 観光バスが多く通る浅草小学校付近の安全対策（1階ではない学校の設置検討など）

防災

- 発災時における避難場所の確保（飲食店の開放等）
- 台東区だけでなく隅田川沿川で連携した堤防整備

水辺

- 隅田川をうまく使った、観光客の呼び込み
- 隅田川からまちに水を引いた水路の整備
- ペット連れが楽しめる空間・施設
- 水辺空間の利活用に関する許可窓口の一本化
- 舟に自転車を積み込み、浅草とお台場方面を行き来できる運用
- 舟運を活用した観光客の荷物輸送・隅田川の近くに荷物を預けることができる拠点の設置
- 伝法院通り～東武浅草駅北口～助六夢通りをつなぐ水辺への動線の活用

交通

- 駅周辺の思い切ったまちづくり
- トイレなど駅施設の使いやすさ向上
- まちと一体になったわかりやすい案内
- 東西動線の強化（浅草～上野間との連携）

その他

- 古い歴史を残しつつ、近未来的なものも取り入れた、いろんな色のあるまち
- 世間一般の人々に喜んでもらえるまち
- 地元の人に限らず、周りから来る人にも愛されるまち
- 地元の人を大事にしたものをつくり、地元の人がこの通りを回って「面白い」と感じるものが重要
- 墨田区と連携した、もう少し広い「下町圏」で捉えたまちづくり
- 隣の区と協力しながら我々の住んでいる場所あるいは働いている場所を有効に広く使えるような知恵を出すなど、物理的に狭い浅草の土地をいかに広く活用するかということが重要